



みんなで子育て No.11

在宅取組に様々な工夫があります。

笠松町立松枝小学校 秋休み～家族でクッキング～ 10月2日(土)～10月10日(日) 在宅取組型

保護者様
PTA会員各位

令和3年7月3日

笠松町立松枝小学校
PTA会長
母親委員長
氏

**案内と
レシピ**

「秋休み～家族でクッキング～」

秋祭りの様、PTA会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃はPTA活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、今年度も昨年度同様コロナ禍のため6月に予定していたお弁当の中止を受け、また今後のお弁当の準備として、秋休みに児童がお手伝いしながら家族と調理できるように「家族でクッキング」の取り組みを行うことになりました。

栄養職員の郷先生に簡単に作るレシピを作成して頂きました(裏面参照)ので、ぜひ参考にしてみてください。この機会に家族でコミュニケーションをたくさんとってもらえたらと思っています。

実施期間：10月2日(土)～10月10日(日)
提出期限：10月11日(月)

取り組み内容

① おうちのひと話し合っ、作ってみたい料理に挑戦する。

たとえば…

☆おにぎりをにぎる ☆お米をたく ☆野菜をあらう ☆卵をわる など
全部作れなくても大丈夫！やりたいことにはチャレンジしてみよう！
案内のレシピ集もぜひ活用してみてくださいね。

② チャレンジカード(別紙)に内容や感想を記入する。

絵や写真などなんでも取り組んだか教えてください。
タブレットを活用して撮影してもOK！ぜひ担任の先生に見せてください。

※ケガややけどなどをしないように！必ずおうちの人のそばで作らしましょう！



家族でクッキング 簡単レシピ

子どものころから楽しい食体験を重ねることで、将来自分の食生活や健康について関心をもって行動でき、より良い食習慣の形成につながるという考えが広がっています。みなさんには色々な食材に触れ、食べたり、調理したりして「食」に関わる時間を大切にしてほしいです。

秋休みの時間を上手に使い、家族で楽しい食体験の機会となるよう、取り組んでみてください。

かりかり梅と塩昆布ごはん (4人分)

- ・ごはん 茶碗2杯 (1人80g)
- ・小梅 4粒
- ・塩昆布 12g
- ・白いりごま 8g1と1/3

①小梅は軽く洗って水気をよく拭く。
②ごはんが炊けたら梅と塩昆布、白いりごまを混ぜる。



カードの例 野菜のホットケーキ

家族でクッキング チャレンジカード

つくった料理名(とりにくんだこと)
野菜のホットケーキ、お米をたくしたり、おにぎりを作ったり、おにぎりを作ったり



あんまり料理をすることがなかったけどしっかり作ることができてよかったです。火のとおりにくい野菜はレンジでちんしたりして工夫することができました。

野菜のホットケーキは初めて作ったけどたくさんの野菜を使って、おやつにもなって、とても面白いなと思いました。野菜の置き方を工夫したり、ミックスしたらいいんじゃないかとアイデアを出しながら楽しく作ることができました。とてもおいしかったです。

松枝小学校では、PTA 母親委員会「お弁当の日」のゆるキャラ「おべんとくん」を作るほど取り組んでいましたが、昨年できなかったのが、今年は何とかならんと考えて実施しました。案内は焦点化し、わかりやすくしてあります。給食のレシピには・かりかり梅と塩昆布ごはん・さけと枝豆ごはん・きゃべつのゆかり和え・野菜いっぱいパンケーキ等があり、レベルが高いですね。参加されたのは全校の9割だそうです。意識の高さが伺えます。

振り返りの案内

感想・メッセージの紹介

今回の取り組みを通して感じた素敵な感想をいくつか紹介します。

子どもたちの感想

ちよつとむずかしかったけど、つくのが楽しかったので、またむずかしい料理を作ってみよう。

親がこんなにがんばって料理をしていたことを初めて知った。

自分で作ったパンはお店で買ったパンよりよかったです。

お米を切った時、ものすごく自分(パン)にはれてびっくりしました。

家族料でなかったことを主としてお米をいってごはんをたきました。

料理がこんなにむずかしかったなんて知らなかったから、これからは今まで以上に作ってくれる家族に感謝したいです。

家族が満足してくれてよかった。まかの料理を自分なりに作ってみたい。

家族からのメッセージ

楽しく料理しててうれしかったよ。また今度一緒に作ろうね！

自由にのびのびと活動が楽しかったよ。楽しかったよ。

最初から最後まで一人で作りました。大成功です。

お米が自分で作ってくれてありがたかったです。とてもおいしかったです。

大好きだから頑張ってがんばってくれました。とてもおいしかったです。

なかなか一筋に作るということがないの、よい機会になりました。

家族にシェフと称されて嬉しかったです。1人1人作りました。

簡単にできるかな。と最初は思っていたけど、意外と簡単でした。

アイデアを出しながら楽しく作れましたね♪

取り組みの様子を紹介



栄養職員 郷先生より

また家族でチャレンジしてみてくださいね！

コメント

お弁当の日の実践ができない中、家庭で食育について学ぶため、家庭でのクッキングを考えられました。そのままでは作れないかもしれないという事から、栄養職員さんによるレシピがあり、これが実にわかりやすく、作ってみようかなと思えるものでした。

488枚が提出されて、そのすべてに委員長さんからの朱書きがあり、ねぎらいの言葉があります。感想をまとめたり、栄養職員さんからの感想も加えたり、クッキング中の写真を添えたりして振り返りの案内が配付されています。丁寧に扱われていて、今後も食育が継続されると思える内容です。委員の皆さんの意欲が素晴らしいですね。



牛牧小学校保護者の皆様(長子)

令和3年7月19日

PTA会長
家庭教育委員

案内

「家読(うちどく)」のススメ

「うちどく」
って何?

瑞穂市教育委員会では「読書のまち みずほ」を推進しており、牛牧小PTAでも読書の活動を積極的に取り入れていきたいと考えています。

「うちどく」とは、家族で読書をする事です。

●家読(うちどく)は家族で同じ本を読み、その中でおもしろかったことや、よかったことなどを話し合うことです。読書週間に身につき家族の会話が増えコミュニケーションが豊かになって、家族の絆が深まる事が期待されます。



<取組み方>

家族で同じ本を選ぼう!

自分のペースで読もう!

家族で読んだ本について話そう!

今年度、牛牧小学校家庭教育学級では、夏休み期間に「家読(うちどく)」の活動を行います。取組みかてきた方は、裏面に感想を書いて9月10日(金)までに学級担任まで、ご提出ください。

今の時代、読むだけが読書じゃない!?

YouTubeでは、プロのアナウンサーによる読み聞かせ動画もあります。それに親しみのない方も、まずは本の楽しさを知り、興味を持つことから始めてみてはいかがでしょうか?

おすすめの読み聞かせです。
QRコードにアクセスしてみてください。



瑞穂市の4月の家庭教育学級の研修で、「ぜひ家読をやって欲しい」との依頼があったそうです。その際に、こんなことをするといつというヒントはいろいろいただきましたのですが、それを聴いて、家庭教育学級委員(今年度も昨年度もPTA本部の中で家庭教育学級担当の方を決めています。コロナ禍で役員さんを新たに決めて招集することをしていないので)が工夫をして、今回の取り組みになりました。

市の研修会で示された例

●第△回○○○家庭教育学級では、夏休み期間に「家読(うちどく)」の活動を行います。家族で同じ本を読んで、以下の例を参考に感想ノートへ記録して本のご会で会話してみよう!

<感想ノートの例>

本の記録		読んだ人	家族の感想
タイトル	○○○○	母	私も小さいときに読んだことのある本です。懐かしく感じながら読んでいて、小さい頃を思い出しました。
作者・筆者	△△△△	父	はじめて読みました。先に読んだ長女が登場人物を教えてくれたので、読みやすかったです。最後まで楽しく読みました。
出版社	□□□□	長女	読んでいてドキドキしたけど、なんでも正直に言うことが大切なんだって思いました。
他の人へのおすすめ度 (◎△×)	◎ 小学館おすすめ!	次女	おねえちゃんによんでもらって、うれしかったよ。またよんでね。

コメント

夏休みに取り組みされた家読、瑞穂市は「読書のまちみずほ」を4月の家庭教育学級の説明会でお話されていました。これに従い実践されて、良さを確認されたようです。

アナウンサーの朗読が動画で見られるという事も読み聞かせの良さを感ぜさせる方法ですね。QRコードの利用がいいですね。使いやすいですね。

案内が焦点化されていて非常に見やすくわかりやすいですね。家族で読むという事で、おじいちゃんやお姉ちゃんに読んでもらったりと、関わりが広がっているのがいいですね。

家読や声に出して読むことで、家族だけの時間や体験ができます。一生ものになりますね。

牛牧小学校保護者の皆様(長子)

令和3年11月吉日

PTA会長
家庭教育委員

集まった感想や本のタイトルの紹介の一部

「家読(うちどく)」のススメ

夏休み中、家読にご協力いただきありがとうございます。多くのご家庭で読書を楽しんでいただけたと思います。提出いただいた感想を本部役員で読ませていただきました。すべてご紹介したいと思うものばかりでしたが、本のタイトルと感想を一部紹介させていただきます。

<お父さん・お母さん>

- ★14ひきのせんたく…子供と一緒に読んで中心にかえりました。
- ★しゅくだいクローラー…はじめから「できないからやらない」ではなく、友達と一緒に最後までがんばる姿がカッコよかった。
- ★恐竜最強図鑑…絵がリアルなので、恐竜好きな息子が熱中して読む理由がわかった。自然に片假名も覚えていくので良いと思った。
- ★にっこりおすしとおまびく…いろいろな物の気持ちになって、下の子にも読んであげられる本でした。
- ★ぼくの席が…世の中になくさん人がいるけれど、すべての人が一つ一つ違う、考え方もすべて違う。みんなが友達の良い所をたくさん見つけられると思います。
- ★エジソン…エジソンのあきらめない努力家な所もすごいですが、小学校を選挙になっても息子を信じているお母さんを見習いたいです。
- ★おまえうまそうだな…子どもたちがこれを読んで、優しい気持ち・悲しい気持ちなど、色々な気持ちのお勉強が出来れば良いと思う。
- ★女だっちゃん…4歳の次男には少し難しかったですが、今後手にとって読み、親子で内容を話していきたいです。良い本に出会えました。
- ★みずくむづみ…この本を読んで、改めて自分が思っていたのと同時に、もっと世界の現実を知る努力をしないと…と思いました。
- ★ママはかいぞく…7歳の娘がこの絵本を理解できるようになるのは何歳なのか。毎年読んで見守りたい本でした。

<おじいちゃん・おばあちゃん>

- ★みんなふつうでみんなへん…自分はこうなるだろうと想像していたことが「へんなこと」になってしまっても考えようによっては良かったと思える話がたくさん書いてあるね。ひとつひとつ心がほっこりしました。
- ★ドルフとイッパイアッテナ…お話をできて、お友達もいっぱいいて、色々なことをしているすごいネコです。私もこんなネコを飼ってみたいです。
- ★エジソン…興味を持つこと、そしてやってみる事が大切だね。

<本人・兄弟・姉妹>

- ★すみっくぐら…おねえちゃんによんでもらった、こんどはじぶんでよみたいな。
- ★先生しゅくだいわずれました…わたしもしゅくだいわずれました。
- ★しらすどん…もし、しらすが…びび、おわんの中に入っていて、それがもし自分だったらかなしいです。わけは、ひとりぼっちでさみしいから。

- なまえのないねこ
- おしおのぼうけん
- ふしぎ駄菓子屋 銭天堂
- フランダースの犬
- 12歳の少女が見つけたお金のしくみ
- チロップのきつね
- 学校のミジ怪談
- 大根はエライ
- のりができるまで
- うさぎのモニカのケーキ屋さん
- ぼくのあいぼうはカモノハシ
- カラマのいぶん 人と生きることをえんた鳥
- へんくつさんのお茶会
- とべないほたる
- はらぺこあおむし
- マイヤ・プリンセスカキ
- ひえひえひんやりツアー
- キミとであった日
- とんだトラベル? タイムトラベル
- しっばいにかんぱい!
- まないたよりりをあげないこと
- ルルとララのアイスクリム
- 世界の危険生物 最強王決定戦
- わんぱくだんのりゅうぐうじょう
- わんぱくだんのおかしなおかしや
- ノラネコぐんだんケーキをたべる
- ノラネコぐんだんおすしやさん
- おぼけのソッチぞびぞびどうぶつえん





令和3年度岐阜県青少年健全育成県民大会

岐阜圏域の家庭教育の発表「みんなで家庭教育！」

日時 11月21日(日) 13:00~16:00

会場 瑞穂市総合センター

2年ぶりの青少年健全育成県民大会において、瑞穂市の岡部さん、棚橋さんご一家に、家庭教育の様子を発表していただきました。

・お手伝いで育つ岡部家

瑞穂市では市内の小中学校にボランティアカードを配付し、自ら「だれかのために何かをしたい」という気持ちを大事にする活動をされています。このカードの利用に関わって姉妹が家庭のお手伝いを熱心に行っているのが岡部さん一家です。カードの利用によって毎日の掃除や食事の準備等が継続してできるようになっています。お母さんは、2人がお手伝いをしてカードを持っていくとすぐに感想を記入して印を押してくれます。2人ともその対応の良さや印が増えていくのが楽しみになったと言っています。

また、以前は姉が妹の入浴後の髪の毛を乾かすことをしていましたが、今年はありません。妹は自分で行うようになったのです。年齢によって行うお手伝いが変わっていきます。

お母さんが家庭で大事にしていることは「自分の事は自分でする」です。お母さんは仕事をしながらPTAの家庭教育学級委員長もされています。家庭教育学級では子どもへの影響を考えた食品添加物の講話を実施しました。家族一人ひとりが自分でできることは自分でするということを実践されています。このボランティアカードを利用するまではお手伝いを進んで行うことは少なかったのですが、どんどんやる気になり、「お手伝い」というよりは「自分の仕事」として自然に取り組むようになりました。子どもを認め励ますことの積み重ねが重要だという事がわかります。

この内容をお母さん・小5・小3の姉妹が丁寧に発表されました



・ハートフラワープロジェクトに挑戦！棚橋家

棚橋さん一家はおじいさんの代から続いている大工さんです。お父さんはPTA会長をされています。3人兄弟の長女の姉は中学校の福祉委員長を前期していました。学校運営協議会で「地域で花づくりに取り組もう」といった呼びかけに福祉委員会から「ハートフラワー(心花)プロジェクト」といった名前での活動を提案しました。中学校区のそれぞれの地域で花を育てる活動を通して、地域の様々な世代の人々が関わり合い、心を一につなぎたいという願いが込められています。棚橋家は姉の活動を聞いて家の事務所にひまわりの種を植えて実践を支えようとされました。

お母さんに棚橋家の大切にしていることを聞くと「仲間意識、同じ目的に向かって進むことです。例えば漢字検定を受けるなら、3人の弟妹が受ける。3人一緒に頑張る。主人も私も協力する。」と話されました。学校には「お弁当の日」があります。生徒が自分でお弁当を作って学校にもって行きます。この日はお父さんも一緒にお弁当を作ります。その準備はお母さんがしています。家族みんなで同じ方向を向いています。今回のハートフラワープロジェクトも娘さんが頑張るだけでなく、お父さんは自治会・個人宅や企業にも働きかけていきたいと考えて動きました。家族の働きかけで、学校、地域のハートフラワープロジェクトが広がりつつあります。今年のような状況では簡単ではありません。それでも進められる原動力は「家族は同じ目的に向かう」というつながり強さです。

この内容を中3の姉、お父さんお母さんの3人で発表されました。



家族の発表から、「家庭内で継続して丁寧にに関わること」「学校地域とのつながりを大事して実践すること」の素晴らしさが伝わってきたと話される方がいて、家族の関わり方の良さを感じることできたようです。発表ありがとうございました。



閉講式の「挨拶」が「引き継ぎ」の内容になります！！

これは、例年紹介されているものです。ちょっと早いですが、参考になりますので、今年度の状況を考えて紹介します。「閉講式」での委員長さんの「挨拶」です。「引き継ぎ」の資料としても生かせる内容です。参考にして、自分の「よかった！」工夫や努力を組み込みながら、喜びや感謝を伝えませんか。

閉講式にあたり、ごあいさつをさせていただきます。

〇〇〇学校の家庭教育学級では、「共に学び、豊かな心を育てよう」をテーマに、本年度、4回の家庭教育学級を行いました。

第1回目は、集まることを避け、校長先生の講話「読み聞かせの良さ」を撮影し、動画での配信を行いました。「読み聞かせが楽しそうで子どもも夢中で聞いていました。」「親子での視聴が家庭ででき、繰り返し見られるので良い」と言った意見が寄せられました。全校8割の230通の提出がありました。お便りにもまとめました。ご協力ありがとうございました。

第2回目は、夏休みに「話そう！語ろう！わが家の約束」運動として「1日1ハグ〜ギューッと抱きしめよう〜」を行いました。全保護者・児童による在宅取組を実施しました。ミナモの実践カードを使い、大好評でした。親子のコミュニケーションとハグで幸せホルモンが分泌され、愛情と信頼を実感することができ、家族の絆を深めました。

第3回目は、10月に〇〇〇〇先生をお招きし、「思春期を見通した子育て」というテーマでお話を聞きました。広い体育館で椅子の間隔をとり、人数を定員100人に絞り、50人ずつ2回に分けて実施しました。校区の小中合同で行った人権学習で、定員一杯の参加を得ることができました。性に関わり、相手を大切に、自分を大切に、命の大切さについて学びました。

第4回目(本日)は、土曜日に校庭での開催です。〇〇〇〇先生に美しい姿勢と健康的な歩き方について教えていただきました。左右・前後で体の傾きがあったり、歪んでいたりすることも多く、まっすぐ立つことを意識した「なりきりウォーキング！！」で、すっきりしました。マスク着用でソーシャルディスタンスを取りながら、親子や小グループで話し合い、笑顔の絶えない楽しい家庭教育学級となりました。

家庭教育学級とは、「学びの場」であり、「子育てについての交流の場」です。今年は十分な活動ができませんでしたが、学級や学年をこえた「新しい出会い」や「つながりを生んだ場」でもあったと思います。

私自身、今年は特に開催自体を悩んだり迷ったりしました。この学級の意味を考え、委員さんの意見や情報を得て1年間やり切ることができました。PTA役員の皆さんの高い志のもと取組をさせていただけたことに、心から感謝しております。これからも家庭教育学級が、皆様のすばらしい学びの場であり、出会いの場であることを願っています。ご支援ご協力、本当にありがとうございました。

・校長先生のお話を動画配信で行い、親子でのタブレットの利用ができました。

(講演会型+在宅取組型)

・「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の実施しました。

・県の実践カード活用しました。(在宅取組型)

・中学校との連携です。

・「命」という、今日的教育課題についての「学び」です。

(小中合同講演会型+子育てサロン型)

・土曜授業で開催。親子参加です
・体験活動と子育てサロン型を組み合わせました。

(学校行事参加型+体験活動参加型+子育てサロン型)

約束で子どもをしばるわけではありません。
「約束」はきっかけです。



- ・年間4回の内容が今年度の実情に応じた工夫と感染防止対策をされて実施されています。
- ・「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を効果的な内容で実施しています。
- ・家庭教育学級の役割が明確に述べられています。
- ・役員としての苦労やその中での成長について、素直に語っておられます。
- ・皆さんへの「感謝」を忘れない姿勢に、とても心をうたれます。